

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃおふいすばふおーまんすらぼ		団体ウェブサイトURL
	株式会社オフィスパフォーマンスラボ		https://p-labo.jp/team/
代表者職・氏名	代表取締役 石井 秀幸		
制作団体所在地	〒 451-0063	最寄り駅(バス停)	浅間町駅
	愛知県名古屋市中区押切2丁目5-23		
電話番号	052-398-5551		
ふりがな 公演団体名	ちーむばふおーまんすらぼ		団体ウェブサイトURL
	TEAMパフォーマンスラボ		https://p-labo.jp/team/
代表者職・氏名	主宰 石井 秀幸		
公演団体所在地	〒 451-0063	最寄り駅(バス停)	浅間町駅
	愛知県名古屋市中区押切2丁目5-23		
制作団体 設立年月	2011年 6月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 石井 秀幸 取締役 鴻江 未有	役員・事務局社員 5名 団体構成員 40名 加入条件 団体の審査による	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	専任	本事業担当者名	石井 秀幸、大高 可奈
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	石井 秀幸
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@office-p-labo.com		

<p>制作団体沿革</p>	<p>【TEAMパフォーマンスラボ】</p> <p>2006年 モンゴル国立サーカス留学経験のある主宰 石井秀幸、他10名でエンターテインメント集団『TEAMパフォーマンスラボ』立ち上げ。現在約40名。 2011年 運営会社として株式会社オフィスパフォーマンスラボを設立。 2013年 名古屋市中川区に舞台作品の創作拠点として、空中芸の設備を整えたスタジオ兼ミニシアターとして、『シアターパフォーマンスラボ』を設立。</p> <p>2018年 『サーカスエコロジカル』が環境省グッドライフアワード子どもと親子のエコ未来賞を受賞。 2019年より3年連続で、『ウィザードオブサーカス』を名古屋テレビ事業部などで劇場公演。 2022年 『DEAR』が厚生労働省児童福祉文化財、舞台芸術部門に選定。 2022年 『ミラクルイリュージョンサーカス』が文化庁巡回公演、ユニバーサル公演事業に選定。</p> <p>2023年 建物老朽化により、拠点を名古屋市西区に移転。サーカス芸を学べる体育教室開校。</p> <p>パフォーマー、役者、音楽家を中心に、サーカス、マジックなどの芸能作品、ノンバーバル演劇作品、ケルト楽器に特化した音楽作品など舞台作品は10作品。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2007年からサーカス作品で小学校公演をスタート。現在はパフォーマンスと融合させた演劇作品、音楽作品、芸能作品を小中学校、高校公演も含め年間60～150校を実施しています。近年は同時に2班のツアーが可能で同日に別班が5校で公演しました。コロナ禍においても、感染症対策をした演出変更が評価されました。</p> <p>【直近6年間の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度 83校 ・2018年度 67校 ・2019年度 84校 ・2020年度 63校 (通常公演35校、子どものための文化芸術体験創出事業28校) ・2021年度 121校 (通常公演53校、子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業68校) ・2022年度 160校 (通常公演69校、子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業58校、巡回公演事業14校、ユニバーサル公演事業19校) <p>【今年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 141校+α (通常公演117校、巡回公演事業2企画24校)(9月現在) 		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>< 特別支援学校・支援教育研究会 ></p> <p>三重県立特別支援学校、西日野にじ学園、東濃特別支援学校、一宮東特別支援学校、三郷特別支援学校、和泉支援学校、城南特別支援学校、湘南養護学校、所沢おおぞら特別支援学校、八尾支援学校、箕面支援学校、寝屋川支援学校、日高特別支援学校、大子特別支援学校、千葉特別支援学校、友部東特別支援学校、所沢特別支援学校、和光特別支援学校、水戸特別支援学校、堺支援学校、丹波支援学校、熊谷特別支援学校、上神谷支援学校、春日部特別支援学校、一宮特別支援学校、滋賀大学教育学部附属特別支援学校、生野支援学校、あさひ特別支援学校、長浜養護学校、嶺南東特別支援学校、泉北高等支援学校、城陽支援学校、大淀養護学校、守山養護学校、深谷はばたき特別支援学校、茨木支援学校、東住吉特別支援学校、きのかわ支援学校、東大阪支援学校、二階堂養護学校、高槻支援学校、丹波支援学校、川越特別支援学校、生野特別支援学校、和泉支援学校、天白養護学校 他</p> <p>泉南地区支援教育研究会、多気郡特別支援教育研究会</p> <p>< 聾・盲学校 ></p> <p>千種聾学校、松本聾学校、中央聴覚支援学校 塙保己一学園</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=jXkbD_Krl2Y</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ】

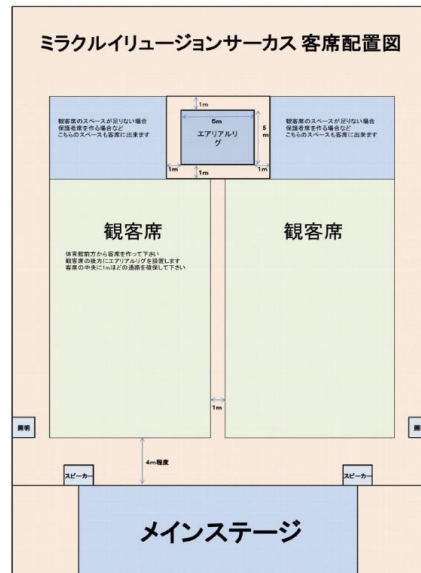
対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	マジックとサーカスが奇跡の融合 『ミラクルイリュージョンサーカス』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【ミラクルイリュージョンサーカス】 <ul style="list-style-type: none"> ●イリュージョンマジック ●サーカスアクト <ul style="list-style-type: none"> ・ジャグリング ・アクロバット ・エアリアル ・スキッピングロープ ・クラウンパフォーマンス 他 作・演出 粕尾将一、石井 秀幸 <div style="text-align: right;">公演時間 60～90 分</div>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	音楽	
	該当事項がある場合	権利者名 未定	許諾確認状況	採択後手続き予定	
演目概要	マジックとサーカスが一度に楽しめる芸能の舞台です。人が浮いたり、消えたりする舞台装置を使った大掛かりなイリュージョンマジック、空中芸、アクロバット、ジャグリングなど、肉体で生み出される数々のサーカスアクト。会場を巻き込んだクラウン(道化師)によるコメディークラウンなど多彩な芸で構成された作品です。 ※別添1-1,1-2 参照				
演目選択理由	不思議体験はイメージネーションの種です。イリュージョンマジックの不思議な現象に触れることで、今までイメージしてきた想像を飛び越え、新たな発想力を育みます。肉体の限界で繰り広げられるサーカス芸を、目の前で体感することで、何事も続けることが大切であり、続けることで世界レベルにも挑戦できる可能性があることを知ってほしい。 会場全体を使った参加型のクラウンアクトで、子ども達は突然出演者に早変わり、一生懸命演者とコミュニケーションをとりながら、ショーの成功に向かって演じます。ただ、舞台を見て受動的にメッセージを受け取るだけでなく、能動的に考え行動することで、子ども達の思考力、判断力、表現力を育みます。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<児童・生徒の共演> ワークショップで教わったジャグリングの芸を、10名程度の生徒に本公演で発表していただきます。ジャグリングの技術だけでなく、クラウン体験教室で教わったステージに立った時の立ち振る舞いやポーズなどを実践します。 <体験の形態> ご希望があれば、バックステージを見ていただくことも可能です。 高さ5.2mのエアリアル器具や普段は見ることのできない、マジックやサーカスの道具を身近でご覧いただける貴重な体験ができます。				
出演者	<ul style="list-style-type: none"> ●マジシャン ヤスアキナイトー or イリュージョニストDAIKI (& アシスタントマジシャン) ●スキッピングロープ 粕尾将一 or 田口師永 ●エアリアルティッシュュー、リング 名古屋エアリアルラボ(空中芸チーム) 代表 doNcHY.. (どんち) ●ジャグリング、アクロバット ジャグラー Kei, はなまる ●クラウン(道化師) クラウン ヒロボン or ビンゴ 他 ※バックアップメンバーが複数いるため様々に対応可能 別添2参照				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 7 名	運搬	積載量: 1,2 t		
	スタッフ: 3 名		車長: 5 m		
	合計: 10 名		台数: 3 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9～12時	13～14時半	15分	15～16時	16時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	15日	0日	15日	10日	
	11月	12月	1月	計	80日	
	10日	10日	10日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10名前後
		鑑賞人数目安	制限なし

★フロア配置図



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

★演出効果

音響、照明は一式会場にあったものを持ち込みます。
LED照明やスモークマシンを使用した演出で、いつもの体育館がまるで劇場のように変わります。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1回50名程度
ワークショップ実施形態及び内容	別添3-1,3-2 参照		
ワークショップのねらい	<p>●サーカスワークショップ全体構成とねらい</p> <p>サーカスワークショップでは、ショーを構成している[個性/技の習得/コミュニケーション(呼吸)]に重点を置き、3項目に分けて講座を実施します。</p> <div data-bbox="965 622 1342 860" style="text-align: center;"> </div> <p>1 <クラウン講座 ねらい> 『人前が苦手』『目が合うと緊張してしまう』といったコミュニケーションの苦手意識は、大人だけでなく子どもたちも抱えている悩みです。クラウン講座は、こうした苦手意識を緩和し、子どもたちのコミュニケーション能力の育成を目的としています。</p> <p>自分のエネルギーを相手に的確に届けると、円滑で効果的なコミュニケーションが生まれます。届ける手段には[発声][アイコンタクト][フィジカルを活かした表現]などがあげられます。クラウン体験教室のカリキュラムは、舞台上のサーカスパフォーマーが実際に意識している上記3点に基づいて構成されています。</p> <p>このカリキュラムは正解を求めるものではなく『声や体を自由に使い、子ども自身にしっかりとエネルギーを放出させる』ことを第一に優先します。</p> <p>ペアやグループでの身体表現活動を行います。協働することで[相手の行動を理解し受け入れる/自分の役割を実践し受け入れてもらう]という、[エネルギーを届ける/受け取る]の双方を体験し、コミュニケーションを通じて協調性や社会性を育成します。</p> <p>2 <ジャグリング講座 ねらい> 「失敗をしながらも挑戦を続けることで目標を実現する体験」をすることにあります。</p> <p>叶えたい夢、就きたい仕事、なりたい自分。何かを変えたくて新しいことに挑戦する時、最初から全てが上手くいくことはほとんどありません。初めて挑戦する技も誰でも最初は失敗ばかりです。上手くいかない自分を責めたり、自信をなくしたりしてしまうこともあります。そんなときは上達のために大切な「失敗する」ということをネガティブに捉えてしまっているかもしれません。失敗→成功へ繋がる道は失敗しながら挑戦しているときに見つかるものです。</p> <p>一度にたくさんのことに挑戦するのではなく階段を登るように少しずつ難しくなる課題に取り組みます。一見難しそうに見える技も、バラバラに分解して練習することで小さな成功体験として積み重ねます。それにより、自分自身の成長を感じ取ることができます。</p> <p>3 <講話 ねらい> 自分の短所は魅力に変わる、というメッセージを子どもたちに伝える講話です。『長所と短所は表裏一体であり、自分の短所だと思っていた部分は、見方を変えると魅力的な個性になる』という考え方を、サーカスで活躍するクラウン(道化師)たちを例に挙げて伝えます。</p> <p>自分の短所を長所に変え、友達の短所も長所に捉え、子どもたちがポジティブな発想で周囲とコミュニケーションをとり、自分の個性に自信を持つきっかけを作ります。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>体育館などで両手を上げられるスペースが必要です。</p> <p>プロジェクターとスクリーンをお借ります。(ない場合は持参いたします)</p> <p>清潔な軍手もしくは靴下を1人1セットご準備ください。</p> <p>本公演の出演希望者は、その後の進捗を遠隔で確認やレクチャーをすることも可能です。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ 】

①本事業に対する取り組み姿勢

私は、この事業の担当者であり、本公演でクラウンとして出演しております。本事業への申請理由として、我々パフォーマーがなぜこの道に進んだのか？出演マジシャンはこう言っています。

『僕は10歳の時に小学校の体育館でマジシャンの演技に魅了され、マジックを始めました。僕は子どもながらその時に、マッチに火がつく様な今までにない感動を与えられたことを今でも覚えています。その時の衝撃と感動を国内外の沢山の皆様にも伝えられる様、頑張っていきたいと思えます！』

私自身も世界中を放浪中、モンゴルのサーカスに出会ったことで、衝撃を受け人生が変わりました。人前に立ち、表現を続けてきて気づいたことは、芸能とは、自分一人できているものではなく、先人の芸に感動し、想像し創造してきたことを、次に伝えていく行為ではないかと思えます。

我々が感じ、得たものを同じように子どもたちに伝えていきたい。そんな想いから学校公演を始めました。山間部や過疎地の小規模校に行くたびに、ちゃんとした規模の作品を届けたいと思うようになり、本事業へ参加しました。生まれた時からデジタルであふれていた今の子ども達に、生の舞台を好きになるきっかけになればうれしく思います。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

本事業の主任担当者は、出演もする現場との兼任ですが、経理担当者含め事務所には3名の専任事務員が在中しており、兼任も含めると5名在籍しているため、円滑な事務処理の対応ができます。

主任担当者が、出演と制作を兼ねているので、現場との乖離が少なく公演が実施できます。エアリアル器具やセンターステージを、体育館のフロアに設置することで、臨場感を増し、より身近で触れ合ったり、感じ取ったりすることができます。新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、触れ合ったりすることを避けた方がいい場合は、条件に合った内容で構成することも可能です。サーカスやマジック作品は演劇などと違い、学校の会場環境、要望に合った内容に構成しやすいため、様々な状況の中でも学校の負担が少なく実施できます。

演目別に、キャストが複数人いるため、スケジュールNGで公演が実施できないことが少なく、予期せぬ事態にも迅速に対応が可能です。

音響、照明、センターステージなどの備品も団体の持ち物のため、業者への外注より、費用を抑えることができ、安価で充実した演出内容の公演が実施できます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

リンク先	No.2	【公演団体名	TEAMパフォーマンスラボ 】
項目内容	<p><イリュージョンマジック></p> <p>机が浮いたり、人が入れ替わったり、20キロにも及ぶ本物の大蛇出現など、浮遊、切断、出現といった、大掛かりな内容のマジックをイリュージョンマジックと呼びます。アシスタントマジシャンを含めた3名構成で、体育館のような広い会場でも見やすいダイナミックな演目です。アッと驚く不思議体験は、子どもたちの好奇心を刺激し、想像力を伸ばしていきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>★</p>	<p><サーカスアクト></p> <p>●ジャグリング</p> <p>複数のものを空中に投げたり、取ったりするボールやクラブなどのトスジャグリング。ディアボロ(中国ゴマ)、デビルスティックなどの特殊な技術を使った曲芸など。2mにもなる高一輪車やバランス芸を同時に行ったりもします。LEDライトを搭載した道具を使い、照明との複雑なプログラムをします。学校名などをプログラムすることで、他にはない特別感のある演出になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>●アクロバット</p> <p>人間の肉体を駆使して行うサーカスの花形アクトです。いくつものローラーを積み上げた上でジャグリングなどをおこなう究極のバランス芸や、椅子を積み上げた上での逆立ち芸、人の上で人が逆立ちをする、ハンド・トゥ・ハンドなど、ダイナミックな演目です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

リンク先	No.2	【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ】
項目内容	<p>●エアリアル (※)</p> <p>高さ5m、独立式の空中芸専門器具を持ち込みます。エアリアルティッシュューとリングの演目が実施可能です。(高さ8mの器具もあり)艶やかに空中を舞う、妖艶でファンタジックなアクトから、地面すれすれまで落下するダイナミックなアクトなど、さまざまな演出を施した空中芸。会場のどこからでも見やすいように、体育館のフロアに設置します。その存在感から、会場に入場したときから、子ども達の興奮は最大に、非日常体験としての空間演出としても、効果があります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
	<p>●スキッピングロープ (縄跳び) (※)</p> <p>誰もが一度は触ったことのある縄跳びを、世界レベルのサーカス芸まで昇華させたアクトです。世界トップレベルのサーカス集団『シルク・ドゥ・ソレイユ』に実際に出演していた、日本に数人しかいないアクターによる4重飛びや5重飛びなどの超絶技巧です。子ども達も一緒に参加するトラベラーというアクトやシルク・ドゥ・ソレイユで実際にやっていたルーティンなど、普段あまり感じることでできない体験です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>※エアリアルとスキッピングロープはどちらかの演目となります。エアリアルの器具が設置できない場合は、スキッピングロープとなります。ツアー期間は同じ演目となります。両演目希望の場合は、ご相談ください。</p>		
<p>●クラウン (道化師) パフォーマンス</p> <p>舞台と客席の垣根を越えて、会場全体を使ってパフォーマンスします。サーカスはただ見るだけじゃありません。先生や子ども達も気づいたら、舞台上に立って一緒にパフォーマンスをしたり、フロア全体を駆け回りながら、会場が一体となる参加型パフォーマンスアクトがたくさんあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

リンク先	No.2	【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ 】
出演者	<p>【ミラクルイリュージョンサーカス出演者】</p> <p>●マジシャン ヤスアキナイトー (内藤靖彰)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカIBMマジックコンベンション マニピュレーション部門 3年連続金賞 ・ドイツバーデンバーデン マジックコンベンション金賞受賞 ・日本最大級のマジックコンベンションにてステージ・クロスアップでゲスト出演 <p>●マジシャン イリュージョニストDAIKI (田中大貴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イシュージョン本場アメリカで最も歴史のあるマジック国際大家で観客投票1位 ・アジア最大の中国上海国際マジック大会にて史上最年少で新人賞受賞 ・世界各国の著名マジシャンが審査員を務めるシンガポール国際大会優勝 ・内閣府公認 公益社団法人日本記述協会より日本記述協会ホープ賞を受賞 <p>●スキッピングロープ 粕尾将一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルク・ドゥ・ソレイユ「ラ・ヌーバ」2500公演出演 ・アジアロープスキッピング選手権大会 優勝 ・全日本ロープスキッピング選手権大会 優勝 ・世界ロープスキッピング選手権大会 6位 <p>●スキッピングロープ 田口師永</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルク・ドゥ・ソレイユ「キダム」7000公演出演(アーティスト兼コーチ) ・2001年第3回FISAC世界ロープスキッピング選手権大会 個人戦9位(日本人初) ・2002年第4回FISAC世界ロープスキッピング選手権大会 団体戦男子3位 <p>●名古屋エアリアルラボ 代表 doNcHY..(どんち) (増保絵衣子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルク・ドゥ・ソレイユ登録アーティスト ・サンリオピューロランド「Miracle Gift Parade」エアリアル振付&出演 ・EXILE ライブツアー「EXILE PRIDE」エアリアル出演 <p>●ジャグリング Kei (柴田圭一郎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2005年 日本国際博覧会「愛・地球博」パレードSol Ban Ban ジャグリング出演 ・2008、2009年 大道芸ワールドカップin静岡オフ部門出演 ・日本で最初の大道芸フェス「大須大道町人祭」2003年に出演 <p>●アクロバット はなまる (花村洋平)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年 ひょうごエンタメグランプリ ・2015年 天満天神街道祭 優勝 ・国際エンターテイメント公演「True Act2017」出演 <p>●クラウン ヒロポン (石井秀幸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2005年 日本国際博覧会「愛・地球博」パレードSol Ban Ban 出演 ・2007年 モンゴルサーカス留学 ・ももいろクローバーZ ドームツアー2016 サーカスパフォーマー出演 <p>●クラウン BiNGO (大藪達也)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウンキャンプ参加(アメリカ)2004年、2005年 ・けやき坂46 日本武道館ライブ2018 サーカスパフォーマー出演 ・ワールドクラウンアソシエーション(アメリカのクラウンの大会)2018参加 <p>【ワークショップ講師】</p> <p>●クラウン講師 もっきー (伊折もとき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木下サーカスにて12年間アーティストとして日本古典芸を演じる ・NEXCO中日本主催「第8回SAPA接客コンテスト」グランプリ受賞 ・CANNON 上海EXPO2016 サーカスアーティスト出演 <p>●ジャグリング講師 Kei (柴田圭一郎)</p> <p>同ページ「ジャグリング」担当と同じく</p> <p>※バックアップメンバーが複数いるため様々に対応可能</p>	

リンク先	No.3	【公演団体名 TEAMパフォーマン斯拉ボ】
ワークショップ実施形態及び内容	サーカスワークショップ『サーカステージに立つ自分の姿を想像してみよう』	
	<p><クラウン講座 カリキュラム 20分> 発声練習 無声(ハミング)→自然な発声→相手に届ける大きな発声。 顔面100面相 顔をくしゃくしゃに動かして表情筋を和らげる。 カラダジャンケン 体を使ってグーチョキパーを表現する。実際のジャンケンもしてゲーム感覚を取り入れる。 あいうえお体操 講師の発する[あ・い・う・え・お]でイメージするポーズをとる。単発音から何が想像できるのか？ 瞬発力を活性化させる。 イメージdeポーズ 講師の発した単語でイメージするポーズをとる。単発音からの応用編。 連想ゲームの要素が盛り込まれており、顔の表情も意識してもらおう。 オリジナルポーズを作ろう ステージ立った時を想像して、自分の決めポーズを考える。</p> <p><ジャグリング講座 カリキュラム 20分> 持ち物 清潔な軍手1組 (靴下1組でも代用可) 持参した軍手で、ジャグリングボール見立てた軍手ボールを作ります。 次に、講師が3個ボールの投げ方を見せ、そこからボールを2つ落とし、1つのボールの投げ方を説明する。 最初は3個で複雑に見えた動きも、実は単純なボールの投げ方の組み合わせであったことを子どもたちに伝えます。</p> <p>1個のボールの投げ方 右手も左手も同じように投げよう／自分に合った高さを探そう／ボールを投げたときにどこを見るか ボールを投げてる間に手を叩く・頭の上で叩く・首の後ろで叩く・足の下で叩く 2個のボールの投げ方 テンポ良く続けて投げて、落とす／テンポ良く続けて投げて、キャッチする 3個のボールの投げ方 3個のお手玉につながる2個の投げ方。説明のみ。 技とポーズで、拍手をもらおう！ クラウン講座で身に付けた【自分のポーズ】と、ジャグリング講座で身に付けた【1個ボールを投げてキャッチ】 を組み合わせて、人前で披露する。グループを半分に分け、披露するチーム(演者体験)と拍手を送るチーム (観客体験)をそれぞれ行う。</p> <p>※本公演でジャグリングを人前で発表する演目を用意します。生徒6名を本公演までに選出をお願いします。 その際の内容は初めてでも挑戦できる皿回しを行います。</p> <p>～～休憩10分～～ プロジェクター</p> <p><講話 20分> ※プロジェクターとスクリーンを使用</p> <p>木下サーカスに10年以上在籍していた講師の実体験を基にした講話。スポーツ経験ゼロからサーカス芸を身につけた経緯／100名以上の団員たちと過ごした団体生活のバックストーリー 他。</p> <p>『長所と短所は表裏一体であり、自分の短所だと思っていた部分は、見方を変えると魅力的な個性になる』という点を軸に伝える。</p> <p>それに[何かを始める時、スタート地点は誰しも同じである][団体生活は、自分の役割を見出して個性を存分に発揮する]の2点も併せ、講師のサーカス実体験と、子どもたちにも伝わる身近な例を重ねて伝える。ネガティブな短所批判から、自分の長所をポジティブに捉える思考への変化を促す。</p> <p><デモンストレーション></p> <p>本公演とは違った構成のミニパフォーマンスを披露。自分たちが挑戦した技(ジャグリング)を、改めて鑑賞することで、挑戦すればできるようになるんだ！ということを感じてもらおう。ミニパフォーマンスの中には、クラウン講座で学んだアイコンタクトやコミュニケーション術も含まれており、実際にどう活かされているのかを再認識し、本公演への期待を高める効果がある。</p>	

リンク先

No.3

【公演団体名

TEAMパフォーマンスラボ

】

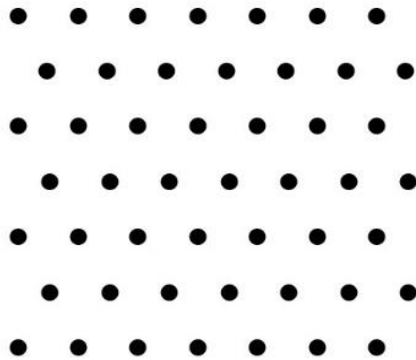
ワークショップ実施形態
及び内容

【クラウン体験・ジャグリング体験の隊形（起立）】

体育館ステージ

講師

体育館フロア



【講話・ミニショーの隊形（着席）】

体育館ステージ

講師

体育館フロア

